

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	鹿児島キャリアデザイン専門学校
設置者名	学校法人 原田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	ITスペシャリスト科	夜・通信	1,620 単位時間	160 単位時間	
文化教養専門課程	グラフィック科 2Dコース	夜・通信	1,440 単位時間	160 単位時間	
	グラフィック科 3Dコース	夜・通信	1,440 単位時間	160 単位時間	
	グラフィック科 アニメーションコース	夜・通信	1,440 単位時間	160 単位時間	
	TV映像音響科 映像専攻	夜・通信	1,320 単位時間	160 単位時間	
	TV映像音響科 舞台専攻	夜・通信	1,320 単位時間	160 単位時間	
	TV映像音響科 レコーディング専攻	夜・通信	1,320 単位時間	160 単位時間	
商業実務専門課程	医療情報管理学科	夜・通信	2,160 単位時間	240 単位時間	
	医療福祉秘書科	夜・通信	1,320 単位時間	160 単位時間	
教育・社会福祉専門課程	こども学科 (3年制)	夜・通信	2,255 単位時間	240 単位時間	
	こども学科 (2年制)	夜・通信	1,605 単位時間	160 単位時間	
衛生専門課程	ビューティ科 エステティック専攻	夜・通信	1,410 単位時間	160 単位時間	
	ビューティ科 メイク専攻	夜・通信	1,410 単位時間	160 単位時間	
	ビューティ科 ブライダル&コスチュームコース	夜・通信	1,350 単位時間	160 単位時間	
<p>(備考)</p> <p>こども学科 (3年制) は、平成30年度より募集停止、2・3年生のみ在籍 こども学科 (2年制) は、令和元年度より設置、1年生のみ在籍 ビューティ科は、令和2年度よりビューティ・ウェディング科へ名称変更予定 令和2年度より、支援対象となる学科、「工業専門課程 自動車整備科 (2年制)」を新設予定</p>					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.harada-gakuen.ac.jp/career/school/joho_koukai/syllabus

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	鹿児島キャリアデザイン専門学校
設置者名	学校法人 原田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.harada-gakuen.ac.jp/files/2019/members.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	迫公認会計士事務所	2019.3.1 ~ 2019.10.27	財務担当
非常勤	(株)鹿児島プロスポーツ プロジェクト代表取締役	2019.3.1 ~ 2019.10.27	ガバナンス担当
(備考) 任期満了後についても学外者である理事を複数名配置する			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鹿児島キャリアデザイン専門学校
設置者名	学校法人 原田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要) シラバス作成ガイドラインに従い、原則として各教科の担当者が作成する。シラバスは、教務主任、各学科の学科長および常勤教員によるチェックを行い、学校長の承認を得て、ホームページ及び学生に公表する。公表後にシラバスが変更となった場合、ホームページのシラバスを更新し、変更箇所を学生へ周知する。 授業計画作成期限：前年度3月末日 授業計画公表時期：毎年度4月上旬</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.haradagakuen.ac.jp/career/school/joho_koukai/syllabus
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 成績評価は、考查並びに出席状況、日頃の学習状況(平素の学習態度及びグループワーク等の参加状況)および学習報告(課題実習・実習内容等の報告)等を総合して評価する。各科目について100点満点をもって表し、学年成績は5段階法(秀・優・良・可・不可)によるものとする。 成績考查は、原則として科目の講義が終了したとき、あるいは定期考查にて行うものとする。 単位取得の認定は、進級学年においては進級判定会議にて、卒業学年においては卒業判定会議にて行う。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価は各科目について100点満点をもって表し、学年成績は5段階法によるものとする。評価及び評価基準は次のとおりとする。

評価	評価基準	グレード・ポイント (GP)
秀	90点～100点	4
優	80点～89点	3
良	70点～79点	2
可	60点～69点	1
不可	59点以下	0

成績評価による学習成果を総合的に判断する指標として、Grade Point Average (以下「GPA」とする)を用いる。

GPAは、個々の学生が受講した全科目の習熟度の平均を下記の算出方法により表すもので、成績通知書、成績証明書などに記載する。

- (1) 前条の成績評価基準に準じ、各履修科目に対して5段階の数値(GP)を設定する。
- (2) 各履修科目の単位数に、履修科目のGPをかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の単位数の合計で割ったものをGPAとし、計算式は以下のとおりとする。

$$GPA = (\text{履修科目の単位数} \times \text{履修科目のGP}) \text{の合計} / \text{全履修科目の単位数の合計}$$

- (3) GPAの計算は、小数点第3位以下を四捨五入する。
- (4) 全履修科目の単位数の合計には、評価が「不可」となった科目の単位数についても含むものとする。

学習成績評価は、学年終了時に確定するものとする。ただし、前期に評価が定まった科目については、前期終了時に確定するものとする。

算出されたGPAの総合評価の目安は、下表のとおりとする。

GPA	総合評価
3.50～4.00	大変優秀な成績である。
3.20～3.49	優秀な成績である。
1.60～3.19	良好な成績である。
1.00～1.59	努力が必要である。
0～0.99	より一層の努力が必要である。

成績評価の実施については、細則「学習評価及び履修認定規程」に定め、GPAの算出方法は、学科で共通とする。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.harada-gakuen.ac.jp/career/files/joho-kokai/gakusoku.pdf>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>工業分野においては日々高度化する技術革新に対応できる知識と技術を備えた者，文化・教養分野においては時代のニーズに応えられる実践的で有能なクリエイターなどの知識と技術を備えた者，商業分野においては医療秘書・医療事務に的確に対応できる知識と技術を備えた者，教育・社会福祉分野においては保育・幼児教育において社会の多様化したニーズに的確に対応できる知識や技術を備えた者，衛生分野においてはビューティ業界やブライダル業界で活躍できる優れた技能や有能な知識を備えた者に対して，卒業判定会議において卒業の認定を行う。</p> <p>また，卒業の認定においては，出席日数が各学年の出席すべき日数の3分の2を超えており，各教科の出席が時数の3分の2を超え，かつ教科の成績が不可(60点未満)でないこと，および授業料等が完納していることとする。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.harada-gakuen.ac.jp/career/files/joho-kokai/gakusoku.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	鹿児島キャリアデザイン専門学校
設置者名	学校法人 原田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.harada-gakuen.ac.jp/files/2019/balance.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.harada-gakuen.ac.jp/files/2019/statement.pdf
財産目録	https://www.harada-gakuen.ac.jp/files/2019/property.pdf
事業報告書	https://www.harada-gakuen.ac.jp/files/2019/business_report.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.harada-gakuen.ac.jp/files/2019/audit_report.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	ITスペシャリスト科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間	180 単位時間	120 単位時間	1,410 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		80人	1人	3人	6人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>シラバス作成ガイドラインに従い、原則として各教科の担当者が作成する。シラバスは、教務主任、各学科の学科長および常勤教員によるチェックを行い、学校長の承認を得て、ホームページ及び学生に公表する。公表後にシラバスが変更となった場合、ホームページのシラバスを更新し、変更箇所を学生へ周知する。</p> <p>授業計画作成期限：前年度3月末日 授業計画公表時期：毎年度4月上旬</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価は、考查並びに出席状況、日頃の学習状況（平素の学習態度及びグループワーク等の参加状況）および学習報告（課題実習・実習内容等の報告）等を総合して評価する。各科目について100点満点をもって表し、学年成績は5段階法（秀・優・良・可・不可）によるものとする。</p> <p>成績考查は、原則として科目の講義が終了したとき、あるいは定期考查にて行うものとする。</p> <p>単位取得の認定は、進級学年においては進級判定会議にて、卒業学年においては卒業判定会議にて行う。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>工業分野においては日々高度化する技術革新に対応できる知識と技術を備えた者、文化・教養分野においては時代のニーズに応えられる実践的で有能なクリエイターなどの知識と技術を備えた者、商業分野においては医療秘書・医療事務に的確に対応できる知識と技術を備えた者、教育・社会福祉分野においては保育・幼児教育において社会の多様化したニーズに的確に対応できる知識や技術を備えた者、衛生分野においてはビューティ業界やブライダル業界で活躍できる優れた技能や有能な知識を備えた者に対して、卒業判定会議において卒業の認定を行う。</p> <p>また、卒業の認定においては、出席日数が各学年の出席すべき日数の3分の2を超えており、各教科の出席が時数の3分の2を超え、かつ教科の成績が不可（60点未満）でないこと、および授業料等が完納していることとする。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>補習授業、個別指導、保護者への電話連絡ならびに面談等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32人 (100%)	0人 (0%)	32人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ICT 業界（システム開発会社，SI 企業等）			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験，J 検情報システム試験，J 検情報活用試験，情報処理技術者能力認定試験等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
79人	2人	2.5%
（中途退学の主な理由） 病気，進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	グラフィック科 2Dコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間	225 単位時間	225 単位時間	1,260 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人の内数		41人	1人	6人	6人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
学修支援等
(概要) 補習授業, 個別指導, 保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	0人 (0%)	20人 (76.9%)	6人 (23.1%)
（主な就職、業界等） デザイン業界，印刷業界等			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	4人	9.8%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	グラフィック科 3Dコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間	225 単位時間	225 単位時間	1,260 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人の内数		11 人	0 人	6 人	6 人	12 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
学修支援等
(概要) 補習授業, 個別指導, 保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	9人 (90.0%)	1人 (10.0%)
（主な就職、業界等） ゲーム業界等			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定，景観広告検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	1人	5.9%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	グラフィック科 アニメーションコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間	225 単位時間	225 単位時間	1,260 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人の内数		37 人	0 人	6 人	6 人	12 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
学修支援等
(概要) 補習授業, 個別指導, 保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	9人 (75.0%)	3人 (25.0%)
（主な就職、業界等） アニメーション業界等			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定，景観広告検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	3人	7.5%
（中途退学の主な理由） 学校生活への不適合，進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	T V映像音響科 映像専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間	405 単位時間	1,305 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		37 人	0 人	5 人	8 人	13 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
学修支援等
(概要) 補習授業, 個別指導, 保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	14人 (87.5%)	2人 (12.5%)
（主な就職、業界等） 番組制作会社，映像制作会社等			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 映像音響処理技術者資格認定試験，マルチメディア検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34人	2人	5.9%
（中途退学の主な理由） 学業不振，進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	T V映像音響科 舞台専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間	405 単位時間	1,305 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		25 人	0 人	5 人	8 人	13 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
学修支援等
(概要) 補習授業, 個別指導, 保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	8人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 舞台音響照明会社等			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 映像音響処理技術者資格認定試験，マルチメディア検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	2人	8.0%
（中途退学の主な理由） 学業不振，進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	T V映像音響科 レコーディング専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間	405 単位時間	1,305 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		18 人	0 人	5 人	8 人	13 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
学修支援等
(概要) 補習授業, 個別指導, 保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 番組制作会社，映像制作会社，舞台音響照明会社等			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 映像音響処理技術者資格認定試験，マルチメディア検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	医療情報管理学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,640 単位時間	2,070 単位時間	450 単位時間	120 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,640 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		85人	0人	6人	9人	15人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
学修支援等
(概要) 補習授業, 個別指導, 保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	19人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 総合病院，病院，IT企業			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療情報管理士，ドクターズブランク，診療報酬請求事務能力認定試験（医科）等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84人	2人	2.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	医療福祉秘書科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間	1,170 単位時間	450 単位時間	90 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		62人	0人	7人	2人	9人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
学修支援等
(概要) 補習授業, 個別指導, 保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
45人 (100%)	0人 (0%)	45人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 病院，調剤薬局，介護施設，一般企業等			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療報酬請求事務能力認定試験（医科），医療事務技能審査試験等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
83人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	こども学科（3年制）	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3,150 単位時間	2,415 単位時間	675 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	60 単位時間
			3,150 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		37人	0人	4人	26人	30人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ
学修支援等
（概要） 補習授業，個別指導，保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20人 (100%)	0人 (0%)	19人 (95%)	1人 (5%)
（主な就職、業界等） 保育園・幼稚園・児童養護施設等			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士，幼稚園教諭二種，社会福祉主事（任用）等			
（備考）（任意記載事項） 平成30年度より募集停止，2・3年生のみ在籍			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61人	4人	6.6%
（中途退学の主な理由） 学業不振，進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	こども学科（2年制）				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,965 単位時間	1,455 単位時間	120 単位時間	390 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,965 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		26人	0人	4人	26人	30人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報（ITスペシャリスト科）の記載と同じ
学修支援等
（概要） 補習授業，個別指導，保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士，幼稚園教諭二種，社会福祉主事（任用）等			
（備考）（任意記載事項） 平成30年度より募集開始，令和元年度は1年生のみ在籍			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	ビューティ科 エステティック専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間	600 単位時間	210 単位時間	900 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		12 人	0 人	4 人	11 人	15 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科) の記載と同じ
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科) の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科) の記載と同じ
学修支援等
(概要) 補習授業, 個別指導, 保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ビューティ業界（エステティック等）			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） Ajesthe 認定エステティシャン，Ajesthe 認定衛生管理者等			
（備考）（任意記載事項） 令和2年度から，ビューティ・ウェディング科へ学科名変更予定			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	3人	20.0%
（中途退学の主な理由） 家庭の事情，進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	ビューティ科 メイク専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間	420 単位時間	450 単位時間	840 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人の内数		12 人	0 人	4 人	11 人	15 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科)の記載と同じ
学修支援等
(概要) 補習授業, 個別指導, 保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ビューティ業界（化粧品販売等）			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） shu uemura 技術検定，日本化粧品検定，メイクセラピー検定等			
（備考）（任意記載事項） 令和2年度から，ビューティ・ウェディング科へ学科名変更予定			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	3人	20.0%
（中途退学の主な理由） 病気，進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	ビューティ科 ブライダル&コスチュ ームコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間	660 単位時間	330 単位時間	720 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,710 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人の内数		27人	0人	4人	11人	15人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科) の記載と同じ
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科) の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の4-② 2. 教育活動に係る情報①学科等の情報 (ITスペシャリスト科) の記載と同じ
学修支援等
(概要) 補習授業, 個別指導, 保護者への電話連絡ならびに面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	14人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ブライダル業界（婚礼会場，ドレスショップ，フォトスタジオ等）			
（就職指導内容） 担任による本人及び保護者への面談，面接指導，キャリアセンターによる就職指導，校内企業ガイダンスの実施等			
（主な学修成果（資格・検定等）） one-W 認定試験，ブライダルコーディネート技能検定，きもの着付け技能検定等			
（備考）（任意記載事項） 令和2年度から，ビューティ・ウェディング科へ学科名変更予定			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	1人	3.8%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による個人面談，保護者との連携，カウンセラーによるカウンセリング，家庭訪問，再入学等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
I Tスペシャリスト科	50,000 円	380,000 円	500,000 円	実験実習費, 施設維持費
I T専攻科	0 円	0 円	500,000 円	実験実習費, 施設維持費
グラフィック科	50,000 円	380,000 円	500,000 円	実験実習費, 施設維持費
T V映像音響科	50,000 円	380,000 円	500,000 円	実験実習費, 施設維持費
クリエイター専攻科	0 円	0 円	500,000 円	実験実習費, 施設維持費
日本語科	50,000 円	550,000 円	0 円	
医療情報管理学科	50,000 円	380,000 円	500,000 円	実験実習費, 施設維持費
医療福祉秘書科	50,000 円	380,000 円	400,000 円	実験実習費, 施設維持費
医療福祉事務科	50,000 円	380,000 円	400,000 円	実験実習費, 施設維持費
こども学科 (3年制)	50,000 円	380,000 円	500,000 円	実験実習費, 施設維持費
こども学科 (2年制)	50,000 円	380,000 円	220,000 円	実験実習費, 施設維持費
ビューティ科	50,000 円	380,000 円	500,000 円	実験実習費, 施設維持費
修学支援 (任意記載事項)				
令和2年度より学生納付金額および内訳の変更あり				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.harada-gakuen.ac.jp/career/files/joho-kokai/hyouka_jiko_30.pdf
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) (評価項目) ・教育理念・目標 (社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか等) ・学校運営 (目的等に沿った運営方針が策定されているか等) ・教育活動 (学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか等) ・学修成果 (就職率の向上が図られているか等) ・学生支援 (進路・就職に関する支援体制は整備されているか等) ・教育環境 (防災に対する体制は整備されているか等) ・学生の受け入れ募集 (学生募集活動は適正に行われているか等) ・財務 (中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか等) ・法令等の遵守 (法令, 専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか等) ・社会貢献・地域貢献 (学生のボランティア活動を奨励, 支援しているか等) ・国際交流 (留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか等) (評価委員会の構成) ・企業等の役員または職員 (設置する専門課程ごとに2名以上) ・保護者・卒業生等 (本校学生の保護者または卒業生を1名以上) (評価結果の活用方法) 教育活動その他の学校運営について, 社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し, その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について自己評価を行うことにより, 学校としての組織的・継続的な改善を図る。

また、自己評価の結果に基づいて行う学校関係者評価の実施とその結果を公表することにより、適切に説明責任を果たすとともに、特色ある学校づくりを進めることにより、関連業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受できるよう学校運営の改善と学校教育の発展を目指す。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
一般社団法人 鹿児島県情報サービス産業協会	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	業界団体理事
株式会社グローバルコミュニケーションズ	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	企業等委員
株式会社鹿児島頭脳センター	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	卒業生, 同窓会副会長, 企業等委員
鹿児島CM合同研究会	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	業界団体代表
ヴァージョン	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	企業等委員
株式会社鹿児島システムサービス	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	企業等委員
有限会社インパルス	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	卒業生, 企業等委員
鹿児島県社会福祉協議会	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	業界団体職員
医療法人聖仁会 南薩ケアほすびたる	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	企業等委員
公益社団法人昭和会 今給黎総合病院	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	企業等委員
社会福祉法人恵会 特別養護老人ホーム はっぴー園	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	企業等委員
一般社団法人 鹿児島県私立幼稚園協会	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	業界団体会長
社会福祉法人常盤会 法人本部	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	企業等委員
社会福祉法人山鳩福祉会	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	企業等委員
一般社団法人 日本エステティック協会	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	業界団体理事
オリオきもの学院	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	企業等委員
ラヴィサンシャンブルドボーテ	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	企業等委員
有限会社カレン商事 ビューティクリニックコダマ	2018. 4. 1 ~ 2020. 3, 31	卒業生, 企業等委員

学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.harada-gakuen.ac.jp/career/files/joho-kokai/hyouka_kankei.pdf

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://www.harada-gakuen.ac.jp/career>